

スポーツ秋田



題字：辻 兵吉 元県体協会長

成年女子B
ジャイアントスラローム 優勝
向川桜子 (秋田ゼロックス様)



少年男子 10kmクラシカル
優勝 土濃塚悠成 (秋田北鷹高校)



少年男子 コンバインド 優勝 木村幸大 (花輪高校)

[写真提供：秋田魁新報社]

contents

◎にいがた妙高はね馬国体グラビア.....	2	◎第3期高等学校強化拠点校.....	11
◎巻頭言・平成30年度主要行事予定.....	3	◎中学生育成事業「競技力向上研修Ⅱ」.....	12
◎にいがた妙高はね馬国体競技結果.....	4	◎競技団体別体験会のお知らせ.....	13
◎全国高等学校スキー大会		◎秋田トップアスリート無料職業紹介所より.....	14
全国中学校スキー大会.....	5	◎県内スポーツの主なできごと.....	15
◎にいがた妙高はね馬国体インタビュー.....	6	◎寄付のお願い、寄付事業のご報告.....	16
◎秋田県スポーツ賞受賞者.....	8	◎事務局だより.....	18



にいがた妙高はね鳥国体

銀世界 跳ねて 駆けて かがやいて



成年男子B コンパインド
2位 湊祐介 (東京美装グループスキー部)



女子リレー 2位 秋田県チーム
右上から時計回りに平川、本田、田中、石垣



成年女子B 5kmクラシカル 2位
石垣寿美子 (秋田ゼロックス㈱)



少年男子 リレー 3位 秋田県チーム
No.52 第1走の進藤洸太 (花輪高校)



成年男子 リレー 3位 秋田県チーム
No.101 第1走の佐藤太一から第2走の田中聖士に



成年男子B ジャイアントスラローム
3位 中村和司 (秋田ゼロックス㈱)



成年 ジャイアントスラローム 入賞者 (左から)
男子C 5位の生田康宏、女子B 1位の向川桜子、同7位金子未里

(写真提供：秋田魁新報社)



巻頭言



平昌冬季五輪の帳（とぼり）が降りると同時に始まった「にいがた妙高はね馬国体」。県勢は妙高山麓で風を切るように走り、滑り、飛び、躍動しました。

目標に掲げた「連覇」には届きませんでした。獲得点数 120 点。天皇杯 4 位、皇后杯 2 位という成績を残すことができました。昨年の 150 点には及ばなかったとはいえ上々の結果。全力で競技に臨んだ選手、監督、コーチ、スタッフに心から敬意を表します。

冬季国体の終わりとともに、厳しい寒さも和らぎ、センバツ高校野球なども始まりました。本格的なスポーツシーズンの到来です。強化に励んできた若きアスリートたちが、今季はどんな活躍を見せてくれるのか、期待が高まります。

その一方で、残念ながらスポーツをめぐるトラブルも後を絶ちません。背景は何かとを考えをめぐらせば、行き過ぎた勝利至上主義、五輪至上主義があるようにも見えます。五輪への出場権を得たいがために、ライバルを不正に蹴落とそうとしたカヌー選手の不祥事などがその典型ではないでしょうか。

競技スポーツは勝利を目指すところから始まります。相手を倒して勝ち上がり、頂点にはい上がろうとする強い意志と高い目標。そしてその先にある栄光。それがあからこそ、厳しいトレーニングに耐え、自らの力と体と技を鍛え、闘争心をかき立てるのでしょう。

スポーツ・レクリエーションとは異なり、競技スポーツは勝つことに意義があります。しかし、それが即ち「どんなことをしても、なにがなんでも、勝たなければならない」ということにはならないのではないのでしょうか。スポーツに最も大切なことはフェアプレー精神です。勝ち負けだけにとらわれない感動、美しき敗者も、スポーツには存在します。

フェアなスポーツ精神を身につけた有為な人材を社会に送り出すことが、体育協会の大事な使命の一つではないかと思えます。いっそうスポーツの振興に努め、加盟団体をはじめ行政機関とも連携して各種事業を推進していく所存です。ご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

平成 30 年度主要行事予定

年 月 日	行 事	会 場
H30. 4. 23(月)	加盟団体事務局長会議	秋田県スポーツ科学センター
H30. 6. 7(木)	第 1 回定例理事会	秋田県スポーツ科学センター
H30. 6. 27(水)	定時評議員会、受賞者祝賀会	秋田キャッスルホテル
H30. 8. 24(金)～26(日)	第73回国民体育大会東北ブロック大会兼 第45回東北総合体育大会	宮城県内
H30. 9. 4(火)	第 2 回定例理事会	秋田県スポーツ科学センター
	第73回国民体育大会秋田県選手団結団式	県立体育館
H30. 9. 29(土)～10. 9(火)	第73回国民体育大会本大会	福井県内
H31. 1. 30(水)～2. 3(日)	第74回国民体育大会冬季大会 (スケート・アイスホッケー競技会)	北海道釧路市
H31. 2. 14(木)～17(日)	第74回国民体育大会冬季大会 (スキー競技会)	北海道札幌市
H31. 3. 13(水)	第 3 回定例理事会	—
H31. 3. 27(水)	臨時評議員会	—



第73回国民体育大会冬季大会 競技結果

【スキー競技】

新潟県妙高市 平成30年2月25日(日)～28日(水)／開会式：妙高市文化ホール 25日(日)

競 技	会 場	日 程
アルペン	赤倉観光リゾートスキー場	26日(月)～28日(水)
ジャンプ・コンバインド	妙高高原赤倉シャンツェ	26日(月)～27日(火)
クロスカントリー	赤倉観光リゾートクロスカントリーコース	26日(月)～28日(水)

順 位	得 点	種 別	種 目	氏 名	所 属
1位	8	成年女子B	ジャイアントスラローム	向川 桜子	秋田ゼロックス㈱
1位	8	少年男子	クロスカントリー	土濃塚 悠成	秋田北鷹高校
1位	8	少年男子	コンバインド	木村 幸大	花輪高校
2位	7	成年男子B	コンバインド	湊 祐介	東京美装興業グループスキー部
2位	7	成年女子B	クロスカントリー	石垣 寿美子	秋田ゼロックス㈱
2位	7	女子	リレー	本田 千佳	花輪高校
				田中 星那	花輪高校
				平川 歩未	秋田北鷹高校
				石垣 寿美子	秋田ゼロックス㈱
3位	6	成年男子B	ジャイアントスラローム	中村 和司	秋田ゼロックス㈱
3位	6	成年男子	リレー	佐藤 太一	秋田県体育協会
				田中 聖士	早稲田大学
				畑澤 壱希	日本大学
				湊 祐介	東京美装興業グループスキー部
3位	6	少年男子	リレー	進藤 洸太	花輪高校
				山本 竜	花輪高校
				高橋 和希	秋田北鷹高校
				土濃塚 悠成	秋田北鷹高校
4位	6	成年女子A	クロスカントリー	藤田 菜々瀬	日本大学
4位	6	少年男子	スペシャルジャンプ	木村 幸大	花輪高校
5位	4	成年男子A	クロスカントリー	田中 聖士	早稲田大学
5位	4	成年女子A	ジャイアントスラローム	沼森 愛奈	東海大学
5位	4	成年男子B	スペシャルジャンプ	湊 祐介	東京美装興業グループスキー部
5位	5	成年男子C	ジャイアントスラローム	生田 康宏	東京美装興業㈱鹿角事業所
5位	4	少年女子	クロスカントリー	田中 星那	花輪高校
6位	3	少年男子	コンバインド	湯瀬 晃成	小坂高校
7位	2	成年男子B	スペシャルジャンプ	小山内 佳彦	東京美装興業㈱鹿角事業所
7位	2	成年女子B	ジャイアントスラローム	金子 未里	秋田県体育協会
7位	4	少年男子	スペシャルジャンプ	湯瀬 晃成	小坂高校
8位		成年男子B	スペシャルジャンプ	成田 巨樹	小坂製錬㈱
8位		少年男子	コンバインド	小舘 冬歩	花輪高校
9位	1	成年男子A	スペシャルジャンプ	齋藤 翔太	東京美装興業グループスキー部
9位	1	成年男子A	コンバインド	湯瀬 瞬	日本大学
10位	1	少年女子	クロスカントリー	本田 千佳	花輪高校

競技得点ルールによる点数変更 入賞数 22
 入賞者が3名以上の場合、上位2名のみ得点

第73回国民体育大会冬季大会スケート競技会 総合成績 山梨県甲府市・富士吉田市 1月28日(日)～2月1日(木)

男女総合成績(天皇杯)・得点 28位 10.0点 [10点(参加得点)]
 女子総合成績(皇后杯)・得点 22位 10.0点 [10点(参加得点)]

第73回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会 総合成績 神奈川県横浜市 1月28日(日)～2月1日(木)

男女総合成績(天皇杯)・得点 12位 10.0点 [10点(参加得点)]

第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 4位 120.0点 [110.0点(競技得点)+10点(参加得点)]
 女子総合成績(皇后杯)・得点 2位 49.0点 [39.0点(競技得点)+10点(参加得点)]

第73回国民体育大会冬季大会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 8位 140.0点 [110.0点(競技得点)+30点(参加得点)]
 女子総合成績(皇后杯)・得点 10位 59.0点 [39.0点(競技得点)+20点(参加得点)]



平成29年度全国高等学校総合体育大会(冬季大会) 第67回全国高等学校スキー大会 秋田県選手上位成績一覧

開催地：北海道、岐阜県 期 日：平成30年2月4日(日)～8日(木)
 ○アルペン：飛騨ほおのき平スキー場
 ○クロスカントリー：デイリー郡上・牧歌の里クロスカントリーコース
 ○スペシャルジャンプ：名寄市ピヤシリシャンツェ
 ○ノルディックコンバインド：名寄市ピヤシリシャンツェ、なよろ健康の森クロスカントリーコース

No.	種 目	成績	性別	学校名・名前・学年
1	ノルディックコンバインド	1位	男	花 輪：木村 幸大 ①
2	リレー 10 km × 4	2位	男	秋田北鷹：野田頭峻也 ③ 上平 晃也 ① 高橋 和希 ③ 土濃塚悠成 ③
3	5 km クラシカル	2位	女	花 輪：田中 星那 ②
4	5 km フリ－	2位	女	秋田北鷹：平川 歩未 ②
5	リレー 5 km × 3	3位	女	花 輪：児玉 滯香 ③ 田中 星那 ② 本田 千佳 ①
6	10 km クラシカル	3位	男	秋田北鷹：土濃塚悠成 ③
7	5 km フリ－	3位	女	花 輪：本田 千佳 ①
8	リレー 5 km × 3	4位	女	秋田北鷹：平川 優花 ③ 加藤 萌 ③ 平川 歩未 ②
9	リレー 10 km × 4	4位	男	花 輪：木村 直希 ① 進藤 洸太 ② 山本 竜 ③ 木村 幸大 ①
10	5 km クラシカル	4位	女	秋田北鷹：平川 歩未 ②
11	スペシャルジャンプ(公開競技)	5位	女	花 輪：工藤 稀凜 ②
12	ノルディックコンバインド	5位	男	小 坂：湯瀬 晃成 ②
13	5 km クラシカル	6位	女	花 輪：本田 千佳 ①
14	リレー 5 km × 3	7位	女	十和田：望月 咲良 ③ 黒沢 綾香 ② 蛇沼穂乃香 ③
15	10 km クラシカル	7位	男	花 輪：進藤 洸太 ②
16	10 km フリ－	7位	男	花 輪：山本 竜 ③
17	5 km クラシカル	7位	女	秋田北鷹：加藤 萌 ③
18	スペシャルジャンプ	8位	男	花 輪：小館 冬歩 ①
19	ノルディックコンバインド	8位	男	花 輪：小館 冬歩 ①
20	5 km フリ－	10位	女	秋田北鷹：加藤 萌 ③
21	学 校 対 抗	3位	男	花輪高等学校
22		1位	女	花輪高等学校
23		2位	女	秋田北鷹高等学校

※○数字は学年 ※入賞(スキー10位)以内

平成29年度全国中学校体育大会(冬季大会) 第55回全国中学校スキー大会 秋田県選手上位成績一覧

開催地：秋田県鹿角市花輪 期 日：平成30年2月8日(日)～11日(日)
 ○アルペン：花輪スキー場ジャイアントコース
 ○クロスカントリー：花輪スキー場クロスカントリーコース
 ○ジャンプ・コンバインド：花輪スキー場花輪シャンツェ、花輪スキー場クロスカントリーコース

No.	種 目	成績	学校名・名前・学年
1	クロスカントリー 女子リレー 3km×4 (秋田選抜)	1位	合 川 近藤さくら ② 合 川 澤藤 美空 ② 森 吉 山田 智子 ② 小 坂 澤田 羽夏 ③ 八 幡 平 畠山 香恋 ① 大 館 東 小 鮎 玲愛 ① 阿 仁 大野 愛梨 ③
2	クロスカントリー 男子リレー 5km×4 (秋田選抜)	2位	合 川 小野寺唯人 ③ 合 川 堀部 慈生 ③ 八 幡 平 畠山 侑也 ③ 上小阿仁 山田 龍輔 ③ 美 郷 伊藤大志郎 ② 小 坂 花岡 翔太 ② 花 輪 一 畠山 怜 ②
3	女子 3 km クラシカル	2位	合 川 近藤さくら ②
4	男子 5 km フリ－	4位	八 幡 平 畠山 侑也 ③
5	スペシャルジャンプ	5位	尾 去 沢 阿部 寿音 ①
6	男子 5 km クラシカル	5位	合 川 堀部 慈生 ③
7	女子 3 km クラシカル	7位	小 坂 澤田 羽夏 ③
8	女子 3 km クラシカル	8位	合 川 澤藤 美空 ②
9	ノルディックコンバインド	10位	小 坂 佐藤 瑞樹 ③
10	女子 3 km フリ－	10位	森 吉 山田 智子 ②
11	男子 5 km クラシカル	10位	八 幡 平 畠山 侑也 ③

※○数字は学年 ※入賞(スキー10位)以内



にいがた妙高はね馬国体インタビュー

ジャイアントスラローム
成年女子 B 優勝
向川 桜子 選手
(秋田ゼロックス株)



Q. 国際大会等を転戦する中で、今国体へどのような気持ちで臨みましたか？

A. 国体は私自身が楽しむと同時に応援して下さる方々への恩返しができる特別なレースのひとつです。海外というアウェイな地でレースを転戦するのは楽しいことはもちろん沢山ありますが辛いこともあります。しかし、その経験は確実に私を成長させてくれます。国体で活躍することは、1番身近な地元秋田で応援して下さる皆さんに元気を与えることができたり、私に続く若い選手が育ち、更にこれから秋田という素晴らしい県を日本、アジア、そして世界に発信していけたらいいなという思いがあります。

Q. 今回の国体で優勝できた要因は？

A. 所属の秋田ゼロックスを初めとするスポンサーや後援会のおかげで海外のコーチを専属で雇うことができ春から準備をしました。コーチと出会って3年目になりますが20代前半の頃よりも確実に練習量は多くそのおかげで身体も強くなりました。その練習量やこれまでやってきたことが自信となり、以前よりも思い切ってスタートバーを切ることができるようになりました。丁寧なスキー操作をするようになったことも勝因のひとつではありますが精神的に強くなったことも今回の勝因だと思います。

Q. 本県アルペンのジュニア選手たちへアドバイスをお願いします。

A. 是非いろんな経験をしてください。良い経験も悪い経験も必ず自分の糧になります。それは、多くの出来事が今の私を作ってくれていると思うからです。

例をあげると、私の場合は海外でアウェイ感を多く感じることもあり、海外でのレースで自分のパフォーマンスを出せないことにもどかしさを感じていました。もっと英語が話せたらスキーでも堂々と自分を表現できるのかな～と思いました。それから、時間のある時に英語の勉強をしたり、自分から思い切って話しかけてみたりして英語を使う機会を多くすることで英語が身に付きました。外国の選手と普段の生活や練習について話したり、友達の家遊びに行ったり海外での楽しみも増え海外生活が充実するようになりました。スキーに没頭することはもちろん大事ですが、スキーで自分を最大限に表現するために必要なひとつに英語がありました。多くの経験をしていくことで、自分にながなが必要かわかるのではないのでしょうか。

アルペン
佐藤 範朋 監督
(花輪高校)



Q. 優勝した向川桜子選手を始め、今大会の選手たちの活躍についての感想は？

A. にいがた妙高はね馬国体において、多くの方々からの激励をいただき、向川桜子選手の優勝を含む5つの入賞を達成することができました。向川選手は12月末に行わ

れた全日本選手権で五輪の出場権を獲得することができず、悔しいシーズンの幕開けとなりましたが気持ちを切らすことなく、練習に打ち込み国体での優勝につなげてくれました。他の入賞選手もこれまでの経験から国体へしっかりと調子を合わせ、実力通りの得点を獲得してくれました。今国体期間中はミーティングを重視し、コースの特徴やコースセッティングなどの情報の共有に時間をかけました。また、ピブを出場選手全員に激励の言葉を込めて私から手渡しました。選手からも決意表明を述べてもらい、チーム秋田で戦う意識づくりを心がけました。

得点は25点でありましたが昨年度、一昨年度よりも得点を獲得できたことをうれしく思います。まだまだ課題は多く残りますが、少しでも前進できるよう取り組んでいきたいと思っています。

少年男子 コンバインド
優勝
木村 幸大 選手
(花輪高校1年)



Q. 高校3冠がかかる今大会、どのような気持ちで臨みましたか？

A. いつも通りという気持ちで平常心で臨むように心がけました。プレッシャーも感じましたが、インターハイ、高校選抜と勝つことができ自信もあったので、今できるベストなパフォーマンスをしようと思いました。

Q. 今国体で優勝できた要因は？

A. いつも通りパフォーマンスできたことだと思います。それ以外にも、先生、コーチをはじめたくさんの方々への支えや応援があったからだと思います。

Q. アスリートとして貴方が一番大切にしていることは？

A. もちろん練習を大切に努力することもあると思いますが、僕は人間力が特に大切だと思います。

Q. 昨年時点で目標としていたIH優勝も達成しましたので、今後の新たな目標を聞かせてください。

A. 来年も三冠をしてワールドカップに出場することです。そして、最終的にオリンピックで金メダルを獲得することです。

ジャンプ・コンバインド
畠山 芳彦 監督
(大館スキークラブ)



Q. 優勝した木村幸大選手を始め、今大会の選手たちの活躍についての感想を聞かせてください。

A. 少年組のコンバインドで優勝した木村幸大は、世界ジュニア選手権やコンチネンタルカップを転戦して来た自信がジャンプ・走力の安定感にあらわれ、我々に安心感を与えてくれた。将来、世界を視野に羽ばたく選手と確信している。

成年Bの湊祐介選手も、優勝こそ逃したが、まだまだコンバインドに於ける第一人者である事には変わりなく、次に向け力を蓄えて欲しい。また、成年Aについては、メンタル・フィジカル両



面の強化を要求し、体幹を鍛え直しスキルアップに繋げて欲しい。
各種目での点数獲得を目標に臨んだ、オリンピック・メダリストが出場したレベルの高い第73回にいがた妙高はね馬国体であったが、健闘したジャンプ・コンバインドチームとを感じる。

**少年男子 クロスカントリー
優勝
土濃塚 悠成 選手
(秋田北鷹高校3年)**



Q. 2連覇がかかる今大会、どのような気持ちで臨みましたか？
A. 今シーズンは世界ジュニア選手権に出場したものの、そのあとのインターハイ、全国選抜では表彰台には立つものと思うような成績を残すことができませんでした。ですから、今国体は「絶対に優勝する」という強い気持ちで調整段階から集中して試合に臨んでいきました。

Q. 今大会で優勝できた要因は？
A. 優勝できた要因は二つあります。一つ目は、スキーを仕上げてくれたコーチや応援してくれた皆さんのおかげということです。最高のスキーを仕上げてくれたコーチ陣やたくさん応援してくれた方々には本当に感謝しています。

二つ目は、強い気持ちで最後まで集中して臨むことができたからだと思います。皆さんの期待に応えることができて本当にうれしいです。

Q. アスリートとして貴方が一番大切にしていることは？
A. 今、一番大切にしていることは練習をすることです。集中して練習することが本当に大事だと思います。また、休養も一つの練習だと思っているのでメリハリある取り組みを大切にしています。

Q. 今後の目標は？
A. 今シーズン世界ジュニア選手権に出場し、世界の厚い壁を体感することができました。全く歯が立ちませんでした。初めて世界というものを強く意識するきっかけとなりました。大学に進学しても常に世界を意識し、世界で戦っていける選手になりたいと思います。そしてオリンピックを目指し、ただ出場するだけではなく入賞に絡んでいける選手になりたいと強く思っています。

**クロスカントリー
加賀 誠幸 監督
(十和田高校)**



Q. 優勝した土濃塚悠成選手を始め、今大会の選手たちの活躍についてのご感想は？
A. 今国体では個人種目において複数の優勝や入賞を目指していました。また、リレーにおいても少年男子、女子で優勝を狙い、成年男子では表彰台を目指したいと考えていました。個人においては、少年男子で個人優勝し2連覇を果たした土濃塚選手の滑りは素晴らしいものでした。今季は、所属校でのトレーニングはもちろん全日本 Jr 強化選手として強化合宿や海外遠征へ参加するなど長期間に渡って心身を鍛えてきたようです。シーズン序盤から海外、国内と大会に参戦し続けていたため、調子は決して万全でなかったと思われます。勢いで優勝したわけではなく、本当に自力がついているのだなと感心させられました。また、惜しくも優勝を逃しましたが、準優勝の成年女子の石垣選手、レース序盤から積極的に攻め入賞をした成年女子の藤田選手、成年男子の田中

選手の奮闘もすばらしいものでした。
最終日のリレーにおいても個人レースで得られた勢いや自信が良い方向で表れたと考えます。特に女子リレーでは序盤からトップ争いをし、優勝まであと一歩のところでした。結果は準優勝でしたが、状況が少し違えば優勝できた力は十分にありました。

少年成年男子においても中盤で優勝争いから外れてしまいましたが、選手一人ひとりはその責務をしっかりと努めてくれたと思います。
今大会でクロスカントリー部は、昨年度のような過去最高得点を獲得することは叶いませんでしたが、まずまずの獲得点であったと感じます。今回の成果と反省をしっかりと踏まえて来年度も大きく活躍できるよう選手・コーチ・関係者が一丸となって取り組んでいきたいと考えています。今後も私たちクロスカントリー部への御声援をよろしくお願いします。

**ネクストエイジ(若手・次世代選手)
ジャイアントスラローム
少年女子 16 位
高橋 凜湖 選手
(大仙市立太田中学校3年)**



Q. 初めての国体出場に、どのような気持ちで臨みましたか？
A. 今回、初めての国体出場で、少年の部では一番年下でしたが、少しでも Team Akita に貢献しようと頑張りました。出場する選手のほとんどは高校生でしたが、県体では2位通過だったので全く歯が立たないということはないと思い、練習どおりの自分の滑りをする意識で、高校生には負けないよう全力で臨みました。

Q. 今国体の自身の競技成績についての感想は？
A. 早いスタート順で滑れたこともあり、自分の予想よりも上の16位という結果を出すことができました。昨年の大会で歯が立たなかった他県の先輩方にもタイム差をつけて勝つことができたので、自分の成長を感じ、また、自信にもなりました。しかし出場した中学生では2番目だったので、まだまだ頑張れると思いました。

Q. 本県でただ一人の中学生選手でした。成年選手や高校生と一緒に参加しての感想は？
A. 昨年、秋田県は天皇杯・皇后杯を同時獲得しました。今年はその Team Akita の一員として中学生の自分が一緒に戦えたことを幸せに感じています。秋田県の選手と練習をしたり、他県の選手の滑りを見ることで大変刺激を受けました。今年も天皇杯・皇后杯獲得はできませんでしたが、Team Akita が一つになって戦うことができました。今回の経験を無駄にしないように、これからの大会やトレーニングにいかしていきたいです。来年は入賞できる選手に成長し、また国体に参加します。

Q. まもなく高校生として次のステップに進みますが、今後の新たな目標を聞かせてください。
A. 私は角館高校に進学し、スキー部員としてさらに強い選手を目指していきます。高校ではこれまでよりもスキーにかかわる時間が多くなりますが、様々な取り組みを通じて人間的にも成長していきたいと思っています。今年の全国中学総体では結果を残すことができず、とても悔しい思いをしました。これを忘れず高校では全国優勝をめざし、また国際大会にも参加できる選手になりたいと思っています。どんなに辛いトレーニングでも大好きなスキーをするために頑張って食らいついていくつもりです。



平成29年度秋田県スポーツ賞受賞者

◆ 功 勞 賞 ◆



高橋 護
一般社団法人秋田県バスケットボール協会顧問



夏井 武美
秋田県ウエイトリフティング協会副会長



西村 郁夫
秋田県卓球協会相談役



船木 征次
秋田県柔道連盟相談役



成田 光弘
秋田県軟式野球連盟副会長

◆ 特別功績者賞 ◆



鈴木 斌次郎
前秋田県体育協会副会長

◆ 特 別 賞 ◆



米元 小春
北都銀行バドミントン部



田中 志穂
北都銀行バドミントン部

◆ 栄 誉 賞 ◆



長井 健
横手市テニス協会副会長



前田 貞一
湯沢市体育協会顧問



齊藤 策徳
八幡平体育協会顧問



藤原 聖一
大仙市体育協会顧問



柴田 鐵四郎
にかほ市サッカー協会名誉会長

◆ 生涯スポーツ賞 ◆【個人】



坂上 隆蔵
北秋田市グラウンドゴルフ協会副会長



阿部 安
秋田マスターズ陸上競技連盟副会長



秋田 秀子
にかほ市

国際優秀賞

小林 快 陸上競技 (株)ビックカメラ

国際奨励賞

岡部 友貴 レスリング ユーアイ警備保障(株)
井上 舞 子 柔道 淑徳大学3年



優秀指導者賞

宇佐美 曉 規 陸上競技 大館鳳鳴高校 宮 腰 明 ボクシング 金足農業高校
 畠 山 芳 彦 スキー 秋田県スキー連盟 小笠原 真人 バスケットボール (株)秋田銀行

栄 光 賞 【個人の部】

小 林 快 陸上競技 (株)ビックカメラ	松 瀨 真 平 フェンシング 秋田北鷹高校3年
関 本 萌 香 陸上競技 大館鳳鳴高校3年	松 川 真 瑛 カヌー カヌー 秋田北鷹高校1年
相 馬 絵 里子 陸上競技 スターツ 秋田県体育協会	小 野 祐 佳 カヌー 秋田県体育協会
山 田 修 太 郎 レスリング 秋田商業高校3年	佐 藤 彩 乃 カヌー (株)秋田病理組織細胞診断センター
門 間 順 輝 レスリング 秋田市消防本部	佐々木 翼 カヌー (有)鶴の湯温泉
米 澤 圭 昌 レスリング 早稲田大学3年	佐々木 翼 カヌー 万六建設(株)
伊 藤 昌 凌 レスリング 国士舘大学4年	佐々木 優 カヌー 秋田県体育協会
米 澤 佳 聖 レスリング 秋田商業高校3年	木 村 幸 大 スキー 花輪高校1年
多 胡 島 伸 文 レスリング KATSURA group 五城目高校3年	田 中 星 那 スキー 花輪高校2年
小 野 庭 義 聖 レスリング 秋田県体育協会	平 川 歩 未 スキー 秋田北鷹高校2年
櫻 庭 正 義 太 レスリング 日本体育大学3年	本 田 千 佳 スキー 花輪高校1年
阿 部 侑 太 愛 レスリング 日本体育大学3年	近 藤 さくら スキー 合川中学校2年
嶋 響 大 輔 ウェイトリフティング 金足農業高校3年	土 濃 悠 成 スキー 秋田北鷹高校3年
伊 藤 原 大 光 輝 柔道 御野場中学校3年	石 垣 寿 美 子 スキー 東京美装興業(株)
菅 成 田 光 琉 夏 フェンシング 天王中学校3年	向 川 桜 子 スキー 秋田ゼロックス(株)
土 佐 千 乃 フェンシング 聖霊高校2年	中 村 和 司 スキー 秋田ゼロックス(株)

栄 光 賞 【団体の部】

- 平成29年度全国高校総合体育大会ボート競技大会
- 第72回国民体育大会
- 第72回国民体育大会
- 第72回国民体育大会バスケットボール競技総合1位
- 平成29年度全国高校総合体育大会レスリング競技
- 第72回国民体育大会
- 第72回国民体育大会
- 第72回国民体育大会フェンシング競技総合3位
- 第70回全日本フェンシング選手権大会
- 平成29年度全国高校総合体育大会フェンシング競技
- 平成29年度全国高校総合体育大会フェンシング競技
- 第72回国民体育大会バドミントン競技
- 平成29年度全日本総合バドミントン選手権大会
- 平成29年度全日本総合バドミントン選手権大会
- 第72回国民体育大会弓道競技
- 第72回国民体育大会弓道競技
- 第67回全国高等学校スキー大会
- 第67回全国高等学校スキー大会
- 第55回全国中学校スキー大会
- 第55回全国中学校スキー大会
- 第67回全国高等学校スキー大会女子学校対抗
- 第67回全国高等学校スキー大会男子学校対抗
- 第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会
- 第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会
- 第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会
- 第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会女子総合
- 第67回全国高等学校スキー大会女子学校対抗

- 本荘高校端艇部
- 秋田県成年男子バスケットボールチーム
- 秋田県成年女子バスケットボールチーム
- バスケットボール秋田県チーム
- 秋田県バスケットボール協会
- 秋田商業高校レスリング部
- 秋田県成年女子フェンシングチーム
- 秋田県成年男子フェンシングチーム
- 秋田県フェンシング協会
- 秋田市役所
- 聖霊女子短期大学付属高校フェンシング部
- 秋田北鷹高校フェンシング部
- 成年女子チーム
- 北都銀行 永原・松本組
- 北都銀行 米元・田中組
- 成年男子チーム
- 少年女子チーム
- 秋田北鷹高校男子リレーチーム
- 花輪高校女子リレーチーム
- 女子秋田県選抜リレーチーム
- 男子秋田県選抜リレーチーム
- 花輪高校女子スキー部
- 花輪高校男子スキー部
- 秋田県女子リレーチーム
- 秋田県少年男子リレーチーム
- 秋田県成年男子リレーチーム
- 秋田県女子チーム
- 秋田北鷹高校女子スキー部

平成29年度受賞者数一覧

賞	個人	団体
功 勞 賞	5名	
特別功績者賞	1名	
特 別 賞	2名	
栄 誉 賞	5名	
生涯スポーツ賞	3名	
国際優秀賞	1名	
国際奨励賞	2名	
優秀指導者賞	4名	
栄 光 賞	34名	27団体 165名
奨 励 賞	7名	6団体 81名
合 計	64名	33団体 246名

奨 励 賞 【個人の部】

小 舘 充 華 陸上競技 流通経済大学1年	齋 藤 華 南 フェンシング 城東中学校3年
成 田 千 葉 陸上競技 大館市立北陽中学校2年	高 橋 凜 湖 スキー 太田中学校3年
和 泉 颯 雄 馬 陸上競技 三輪小学校6年	齊 藤 実 祐 スキー 角館高校卒
島 谷 侃 陸上競技 秋田商業高校2年	

奨 励 賞 【団体の部】

- 平成29年度全日本実業団バスケットボール競技大会
- 第37回全国少年柔道大会
- 第8回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会
- 第49回全日本実業団バスケットボール選手権大会
- 第37回全日本中学選手権競漕大会
- 高松宮記念杯第50回全日本実業団バスケットボール選手権大会
- J R 東日本秋田ペッカーズ
- 雄武館 山中道場
- 秋田 L.F.C.ユース
- 秋田銀行女子バスケットボール部
- 本荘南中学校ボート部
- 秋田銀行女子バスケットボール部



平成29年度

人見スポーツ賞受賞者

『成績だけでなく、当該年度に、スポーツのよさ、美しさ等を発揮して県民に深い感動を与え、強く心をひきつけたもの』

- 個人の部
小林 快^{かい} (陸上競技・競歩 (株)ビックカメラ)
・第16回世界陸上選手権大会
- 団体の部
北都銀行バドミントン部
・第72回国民体育大会 バドミントン競技 他

畠沢国体賞受賞者

『国民体育大会において優秀な成績を取め、本県スポーツの振興に著しく貢献したもの』

- 個人の部
木村 幸大^{こう だい} (スキー 花輪高校1年)
・第73回国民体育大会冬季大会 スキー競技会 コンバインド 少年男子 1位
- 団体の部
バスケットボール秋田県チーム
・第72回国民体育大会 バスケットボール競技 総合1位

辻ジュニアスポーツ大賞受賞者

『技量優秀で、将来性が認められるもの』

- 個人の部
齋藤 華南^{はな} (フェンシング 城東中学校3年)
・全国中学生フェンシング選手権大会 エペ1位
- 団体の部
第55回全国中学校スキー大会 秋田県女子選抜リレーチーム
・第55回全国中学校スキー大会 女子リレー 1位



第3期 秋田県高等学校強化拠点校

全国規模の競技会で上位に入賞できる選手・チームを育成するため、平成22年度から、県、県教育委員会、本会の3者により、その拠点となる高等学校を指定しています。

平成30年4月の指定証交付式では、第3期の拠点校として、13校（13競技）が指定される予定であり、指定期間の3年間において、中高一貫指導体制の確立やジュニア層の競技力向上に向けた事業を行います。

秋田工業高校 ラグビーフットボール部 伊東 真吾 監督



強化拠点校の役割として、ラグビーという競技を通じて、スポーツを好きになり、人が集まり、子供から大人までが成長できる環境や文化を創ることだと考えている。ラーメン屋に例えるならば、儲け（結果）を重要視するのではなく、お客さんがラーメンを食べて、「美味しかったね」「また、来ようね」と友達や家族が集まるような幸せな場所（拠点）を築いて行きたい。ラグビーにおいても、「楽しかったね」「また、ラグビーしようね」という、環境や文化を創ることが強化拠点校の役割だと考える。しかし、そのような環境や文化を築くのは、難しいことで時間が掛かる。スキルを教えるより困難なことだと感じた時もあった。私も秋田工業ラグビー部の指導者となり4年が経つ。1・2年目は、なかなか自分の目指すものが創れず、「楽しいラグビー」という文化を築くことができず、結果も出すことができなかった。

しかし、今年度の全国大会では、ベスト16とまだまだ不本意な成績であったものの、全国優勝した東海大仰星高校に同点（トライ数差で負け）まで追い込むことができた。3年生を中心にやりきれるチーム、難しいことにも挑戦できるチーム、ラグビーの本当の楽しさを理解することのできるチームに成長した。秋田工業ラグビー部としての新たな文化ができてきたからこそその結果であると考えている。

また、強化拠点校が目指すものとして、子供や生徒達、指導者を育成することも重要である。強化拠点校は、子供達の将来を考えた指導者が必要である。秋田工業ラグビー部の目標は、日本のラグビーが、世界で勝つために必要なラグビーをすることである。本校で育った生徒達が、世界を目指し、日本代表として活躍できるためのスキルや考え方を身につけることが、大切だと考えている。そのために、中学生との合同練習会（年3回）・強化合宿（年1回）を行い、世界で勝つための意識付けを行っている。また、中学生・指導者を、社会人のトップチーム（サントリー・パナソニック）に派遣し、将来のビジョンを描けるような事業を行っている。また、指導者育成事業やレフリー育成事業なども行っている。

4～5年後には、本校から日本代表としてワールドカップやオリンピックで活躍する選手が複数名出てくることを目標としている。そして、そのような選手を育成できる指導者も増えてくると期待している。強化拠点校として、常に夢や目標を持つこと。また、生徒達に夢をあたえ、秋田県や日本に感動をあたえることのできる強化拠点校を目指していきたい。

秋田南高校 剣道部 金森 康臣 監督



秋田南高校剣道部の監督となり、1年が経とうとしている。強化拠点校としての使命を担い、秋田県の剣道のために何ができるかを試行錯誤しながら、日々過ごしている。大きなプレッシャーを感じることもあるが、それ以上にやりがいを感じる事ができ、毎日が充実している。

強化拠点校は、学校の選手を強くすることは勿論、学校のみならず、秋田県の競技力向上を目指している。中学生との合同稽古や他校との練習試合を充実させ、秋田県内の中学校・高校全体のレベルアップができるように練習計画を考えている。また、県外での試合等を通して、学んだことを秋田県の中で共有する場を設定するなどの取組を行っている。

強化拠点校としての役割の中に、秋田県の競技力の向上を目指しながらも、競技を好きになる選手、競技を通して人間的に成長する選手、競技を通して様々なことを学び秋田県に貢献できる選手の育成も含まれていると考える。私は、平成19年秋田わか杉国体剣道競技成年の部に出場し、優勝することができた。そのときに、優勝という結果は、育ててくれた家族、指導してくださった先生方、ともに厳しい稽古で高め合った仲間、応援してくださる方々のおかげだと感じる事ができた。支えてくれた全ての人に、秋田県に恩返ししたいと思い、秋田県の教員を目指した。指導を通して、競技力向上と合わせて、剣道が好きになり、仲間を大切に、将来秋田のために貢献できるような選手を育てていきたい。

平昌冬季五輪が閉幕し、日本人選手の活躍は勿論、過去最多の92カ国・地域から参加した選手たちが、スポーツの魅力と人間の可能性を示してくれた。スポーツを通して、人は多くのことを学ぶことができ、心を豊かにすることができる。私は、剣道を通して、強化拠点校の使命に誇りをもち、秋田県に貢献できる選手を育成していきたい。理想は高いかもしれないが、あきらめず、日々努力することで近づいていく。監督は選手以上に夢追人でなければならないと考える。選手とともに目標に向かって精進し、秋田県のために貢献できるような強化拠点校を目指していきたい。

第3期秋田県高等学校強化拠点校一覧

No.	高等学校名	競技名
1	花輪高等学校	スキー・コンバインド（男子）、陸上競技（長距離男子除く）
2	秋田北鷹高等学校	スキー・クロスカントリー（男女）、フェンシング（男子）、相撲（男子）
3	能代工業高等学校	バスケットボール（男子）
4	金足農業高等学校	ウエイトリフティング（男子）
5	秋田北高等学校	新体操（女子）
6	秋田南高等学校	剣道（男子）
7	秋田工業高等学校	ラグビーフットボール（男子）、陸上競技（長距離男子）、柔道（男子）
8	本荘高等学校	ボート（男女）
9	大曲農業高等学校	自転車（男子）
10	角館高等学校	スキー・アルペン（男女）
11	雄物川高等学校	バレーボール（男子）
12	湯沢翔北高等学校	バスケットボール（女子）
13	聖霊女子短期大学付属高等学校	フェンシング（女子）



中学生育成事業 競技力向上研修Ⅱ

今から間に合う弱点克服！ 自分の競技に必要な動きを習得せよ！

平成 30 年 2 月 17 日(土)、秋田テルサにおいて、秋田県選手のウィークポイントを克服するトレーニング研修「競技力向上研修Ⅱ」を開催し、秋田県中学生強化選手および秋田県高等学校強化拠点校選手とその指導者、県体協加盟競技団体強化担当者など、総勢 188 名が参加しました。

今回は、白木仁教授（筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻）率いる 5 名の講師により、昨年 10 月 21 日に実施したパフォーマンステストから分析された秋田県選手に必要なトレーニング方法等を指導していただきました。

実践 1 柔軟性をあげ、可動域を広げるストレッチ

課題である股関節と足首の柔軟性を克服すべく、ストレッチや体のチェックから始まりました。股関節の可動域を広げるストレッチでは、股関節を動かすと同時に上体が傾く傾向がある選手が多く、正しい姿勢のまま股関節だけを広げる難しさを一人ひとりが体感しました。

足首の固さは雪国ならではの事で、滑らないように足裏全体で踏むという生活の知恵が競技の妨げになっていることも再認識し、かかとからつま先へと重心移動していくトレーニングを教わり改善していきました。この歩き方や走り方を意識して継続していくと疲れにくくなり、シャトルランの測定も変わってくるとのことでした。



みんなでストレッチ

実践 2 短時間・狭い空間で筋温・体温を上げるウォーミングアップ



四股のトレーニング

雪国秋田でのウォーミングアップは難しいという感覚ですが、オーバーヘッドスクワットやニーアップ、四股の動作を取り入れたトレーニングを中心に行ないました。これらのトレーニングは立位のスペースででき、正しい姿勢で 10 回程度行うとしっかり筋温・体温が上がるトレーニングです。

実践 3 競技特性に合わせたトレーニング方法

本研修のメインとなった競技特性に合わせたトレーニングでは、「高校バスケ・バレー」「格技」「体幹」「中学ステップ」と 4 つのグループに分かれて行いました。

高校バスケ・バレートレーニングでは、パフォーマンステストで下肢の瞬発力の数値（R J インデックス）が低かったことを受け、改善するためのジャンプトレーニングを中心に行いました。

格技トレーニングでは、1 対 1 の局面が多い特性上、相手の動きに対応した攻防の仕方と首のケガを防ぐ位置を学びました。

体幹トレーニングでは、自分の体が崩れないように踏ん張る動作を中心にゲーム形式で様々な駆け引きをしながら行いました。

中学ステップトレーニングでは、様々なステップと姿勢を学びながら徐々にカッティング動作へと入っていきましました。どのグループも終始笑顔と歓声と熱気に溢れた楽しく、明るく、激しいトレーニングとなりました。



中学ステップトレーニング

実践 4 クールダウンの意義と実践

研修の最後は、午前に行った足首を十分に使った歩き方・走り方のおさらいをしながらクールダウンを行いました。また、軽擦法により疲労した部分の細胞の生まれ変わりを促進しました。

CHECK IT !!

1. 股関節は上体が前傾しないようにして広げることで可動域アップ
2. 足首を柔らかく使えと、ケガの予防にもなり、走る際に余計な力が入らず疲れにくくなります



ようこそ競技団体別体験会へ


各競技団体では、それぞれのスポーツの魅力をたくさんの人たちに知ってもらえるように体験会を開催しています。最近人気が高まっているボルダリングの体験会であれば、幼児から参加できる等、どれもお気軽に体験することが可能となっています。(一部の体験会は予定を終了しています。希望の方はお問い合わせください。)

これからスポーツを始める人も、種目転向を考えている人も、是非この機会に、いろいろなスポーツを体験してみてください。各競技団体からは、その競技の醍醐味を伺いました。

No.	競技団体名	開催日	時間	会場等	対象年齢	体験料
1	自転車	毎日	10:00 ~ 17:00	サテライト六郷 (美郷町)	制限なし	無料
2	ゴルフ	H30.4.21	13:00 ~ 16:30	秋田榎台カントリークラブ (秋田市)	小1~高2	¥1,000
		H30.8.20	13:00 ~ 16:30	秋田太平山カントリークラブ (秋田市)		
3	セーリング	H 30.7 (未定)	10:00 ~ 13:00	本荘マリーナ (由利本荘市) ※開催日は4月以降に決定。濡れても良い服装で。	小・中学生	無料
4	柔道	H30.7.28	10:00 ~ 12:00	横手市武道館 ※ジャージか柔道着持参のこと。	小1~中3	無料
5	卓球	毎週(休)	19:00 ~ 21:00	秋田卓球会館 (秋田市)	中1~中3	無料
		毎週(出)	17:00 ~ 19:00	※初回は見学のみとなります。		
6	スピードスケート	毎週(月~金)	17:30 ~ 19:30	県立スケート場 (秋田市)	小~高	¥320
7	水球	毎週(休)	18:00 ~ 20:00	県立総合プール (秋田市) ※水着、バスタオル持参のこと。	中1~中3	¥220
		毎週(土)	10:00 ~ 12:00			
8	銃剣道	H30.2.11	10:00 ~ 12:00	由利本荘市交流学習センター	制限なし	無料
9	女子ラグビー	H 30.4 以降		未定	中1~中3	無料
10	ボウリング	H30.3.10,17,31	15:00 ~ 17:00	ロックンボール (秋田市)	小1~高3	¥500
11	飛び込み	H30.3.11	13:00 ~ 15:00	県立総合プール (秋田市) ※水着、バスタオル持参のこと。	小3~中3	¥100
12	山岳 (ボルダリング)	毎週(休)	18:00 ~ 20:30	秋田県スポーツ科学センター (秋田市) ※ジャージ着用、室内シューズ持参のこと。 ※左記以外での体験希望はご相談ください。	幼児~	無料
		毎週(日)	13:30 ~ 17:00			
		H30.5.5	未定			
		H30.8.26	10:00 ~ 12:00			
		H30.9.23	と			
H30.10.8	13:00 ~ 15:00					
13	アーチェリー	毎週(月)	19:30 ~ 21:00	湯沢市生涯学習センター「山田地区センター」	制限なし	無料

※お申込み、ご要望、お問い合わせは、電子メール (akitaikyotrial@gmail.com) でご連絡ください。
担当は、秋田県体育協会事業課 ジュニア育成アドバイザー 松本・大貫 (電話: 018-864-8091) です。
※お申込みの場合は、メール本文に次の7点をご記入ください。
①氏名 ②性別 ③学年と年齢 ④保護者氏名 ⑤連絡先電話番号 ⑥希望競技 ⑦希望日時

○自転車 自転車競技は人間の力だけで出せる最速の競技である。「風やスピード」を生身で体感でき、その異次元の速度中、作戦や駆け引きにより勝敗を決めるところが醍醐味である。




○ゴルフ 広々としたコースに出て、思いつきボールを打つのはとても気持ちがいいもの。そして打ったボールが真っ直ぐ遠くに飛んだ時、ゴルフって本当に楽しいと感じるはず。年齢や男女に関係なく、誰とでも一緒に楽しむことが出来ます。家族と一緒にプレー出来たら、もっと楽しいと思います。




○飛び込み 飛び込みは「危険」「怖い」という印象が強いのではないのでしょうか。確かにそうです。しかし、高い所から飛び爽快感、新しい技を覚えた時の達成感、きれいに入水が決まった時の歓声と拍手など、「怖い」以上の「楽しさ」があります。


○水球 足のつかないプールで競技。プールは2m以上の水深で、スピーディな動きやダイナミックなシュートをするところが醍醐味であり、世界では「King of Sports」と呼ばれています。



○山岳 スポーツクライミングの魅力は、なんといってもそのシンプルさ。壁に設置された突起物をつかい、自分の力だけでゴールを目指します。設定されたコースの登り方を読み解き合う、パズルゲームのような点も魅力のひとつです。




○銃剣道 「銃剣道」は、我が国に古くから伝わる槍術の特色とフランス式銃剣術を取り入れて日本式銃剣術が起源となって発展させた現代武道9種目の1つです。単純な突き技を競う競技ですが、力強さ・スピード・繰り出す技のタイミング等々、相手との心と技のかけひきは千変万化で上達のたびに試合が楽しくなります。「短剣道」は、日本古来の小太刀の用法を取り入れて、短い竹刀で如何に自分の間合いをとって機敏に動いて技を競うかに特色があります。




○女子ラグビー ラグビーは紳士のスポーツと言われていました。チームのために身体をはってタックルをする、身を挺してボールを守る、仲間のためにがんばるという利他の精神がラグビーの根本にあります。ワンフォアオール・オールフォアワン、一人はみんなのために、みんなは一人のためにという精神がラグビーの根本のスポーツです。



○セーリング どんどん変わる風、波、海流をつかまえて走るヨット。風を帆いっぱい受け、波を越え、時に波乗りし、ヨットは自由自在に海上を走ります。神経を集中し風や波の力をつかまえた時、私たちは自然と一体になれるスポーツです。



○柔道 柔道は礼に始まり、礼に終わると言われるように礼節を大切にすることで、相手を敬う心や思いやる心を育てます。また、全身運動、回転運動、柔軟運動、体幹運動などすべての運動の基礎になるような動きを繰り返しながら体を鍛えていきます。心身ともに鍛えることができるのが柔道です。





第2回セミナー『トップアスリートを秋田から』開催報告

～秋田に定住しながら仕事と競技の両立を目指すアスリートを支援～

本会では、平成 28 年 7 月に厚生労働大臣から無料職業紹介事業の認可を受け、事業課内に「秋田トップアスリート無料職業紹介所」を設置し、JOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）の就職支援制度「アスナビ」をモデルに、本県におけるアスリートと企業等のマッチングサポート事業を実施しています。

平成 29 年 11 月 28 日（火）、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、「競技と仕事の両立」を目指した、第 2 回セミナー『トップアスリートを秋田から』を開催し、企業や競技関係者約 50 名が参加しました。

セミナーでは、この事業の指南役の八田茂氏（元 JOC キャリアアカデミーディレクター）の基調講演に続き、採用企業と選手とのパネルディスカッションで具体的な採用事例をもとに、マッチング実現に向けた取り組みについて参加者と考える貴重な機会となりました。

- 1 講演 演題 地域や企業におけるトップアスリート人材の活用と定着について
講師 八田 茂 氏 （公財）日本バレーボール協会 専務理事
元 JOC キャリアアカデミー ディレクター
- 2 パネルディスカッション
テーマ 「競技と仕事の両立について」
コーディネーター 八田 茂 氏
パネリスト 阿部一之助 氏 (株)秋田病理組織細胞診研究センター 代表取締役
袴田 敏浩 氏 ALSOK 秋田(株) 管理部 人事課長 (兼) 総務課長
菊地 憲 氏 ALSOK 秋田(株) レスリング選手
佐藤 和志 氏 (有)鶴の湯温泉 代表取締役会長
佐々木 翼 氏 (有)鶴の湯温泉 カヌー選手



八田茂氏の講演



パネルディスカッション



質問する参加者

マッチング実績

佐藤 彩乃 選手 (カヌー)	●(株)秋田病理組織細胞診研究センター	平成 29 年 4 月採用
菊地 憲 選手 (レスリング)	● ALSOK 秋田(株)	平成 29 年 7 月採用
佐々木 翼 選手 (カヌー)	●(有)鶴の湯温泉	平成 29 年 8 月採用
藤井 昌織 選手 (モーグル)	●田沢湖高原リフト(株)	平成 30 年 4 月採用予定
高橋 靖彦 選手 (ラート)	●秋田ノーザンハピネッツ(株)	平成 30 年 4 月採用予定
湊 祐介 選手 (スキー)	●シード(株)	平成 30 年 4 月採用予定

秋田トップアスリート無料職業紹介所（厚生労働省認可：05-ム-300018）

営業日 土日、祝日、年末年始を除く毎日（8:30～17:00）

担当者 就職推進アドバイザー 佐々木 功

所在地 秋田市八橋運動公園 1 番 5 号 公益財団法人秋田県体育協会内

電話 018-864-8094

HP等 <http://www.akitaikyoo.or.jp/job/> フェイスブック「アスサポアキタ」

※トップアスリートを正規雇用した場合に県が交付する「正規雇用奨励金」「競技活動サポート補助金」の交付要件は、上記HPに情報を掲載しています。



県内スポーツの主なできごと

12月

- 7日 フェンシングの全日本選手権個人戦で女子エペの成田琉夏（聖霊高2年）が3位
- 10日 ラート競技の第23回全日本選手権大会で個人総合の男子は、高橋靖彦（仙北市出身）が6連覇、女子は堀口文（秋田市出身）が2連覇
- 13日 アマチュアボクシングの第16回全日本女子選手権大会（～17日）で少年女子フライ級の野村瑠夏（金足農高2年）が3位
- 15日 フェンシングの全日本選手権団体戦女子フルーレで秋田市役所が3位
- 17日 バドミントンのワールドスーパーシリーズファイナルズで米元小春、田中志穂組（北都銀行）が初優勝

1月

- 8日 第8回全日本女子ユース（15歳以下）フットサル大会で、秋田LFCユースが準優勝
- 13日 第25回JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会で成田航也（北鷹高2年）がカデ男子フルーレで優勝、翌14日には女子フルーレで土佐千乃（聖霊高1年）が3位
- 18日 平昌冬季オリンピックのバイアスロン女子代表に立崎英由子（北秋田市出身）が選出
- 22日 平昌冬季オリンピックのバイアスロン男子代表に立崎幹人（小坂町出身）が選出、夫婦での出場権獲得
平昌冬季パラリンピックのノルディックスキー距離とバイアスロン男子代表に高村和人（仙北市出身）が選出
- 26日 由利工業高校が第90回選抜高校野球大会に出場決定
- 26日 バイアスロンの欧州選手権女子7.5キロスプリントで立崎英由子（北秋田市出身）が日本勢初の3位
- 30日 バドミントン女子ダブルスの米元小春、田中志穂（北都銀行）が県民栄誉章受章

2月

- 8日 第55回全国中学校スキー大会（～11日）が鹿角市で開催
- 17日 秋田県中学生強化育成事業競技力向上研修Ⅱ

3月

- 3日 FISフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会（～4日）が開催
- 14日 「秋田県スポーツ賞」表彰式
- 29日 「人見スポーツ賞」「富沢国体賞」「辻ジュニアスポーツ大賞」表彰式



秋田県県民栄誉章顕彰式

平成30年1月30日（火）午後3時から、秋田県庁「正庁」において、秋田県県民栄誉章顕彰式が挙行されました。顕彰式には、関係者約220人が出席する中、佐竹知事から表彰状と栄誉章（メダル）が、鶴田県議会議長から記念品が贈呈されました。

県民栄誉章は、学術、スポーツ、芸術、文化等の分野での業績が顕著であって、広く県民に敬愛され、社会に明るい希望を与えるとともに、秋田県の名を高めた方に対して、県がその栄誉をたたえて顕彰するものです。

お二人は、平成29年12月のバドミントン世界大会（ワールドスーパーシリーズファイナルズ）で優勝したこと等の功績により、この度の受章となりました。



よねもとこはる氏（写真左）
米元小春氏

住所 秋田市
出身地 広島県広島市
平成25年 株式会社北都銀行 入行

たなかしほ氏（写真右）
田中志穂氏

住所 秋田市
出身地 熊本県八千代市
平成27年 株式会社北都銀行 入行



秋田県体育協会へのご寄付のお願い

本県スポーツの振興と競技力の向上を図るための様々な事業を実施する経費の一部に充てるため、県民及び県内外の企業、団体へご寄付をお願いしております。

公益法人である本会への寄付は、税制上の優遇措置の適用を受けることができます。領収書を送付いたしますので、お手数ですが、寄付の際には寄付金申込書等により事前連絡くださるようお願いいたします。

申込書は、本会HPからダウンロードするか、本会総務課（018-864-8090）に送付をお申し付けください。

平成29年12月1日から平成30年3月26日までの間、申込みをいただいた法人・団体・個人は次のとおりです。（敬称は略させていただきます。）

- 【法人・団体】** 秋田空港ターミナルビル株式会社 株式会社秋田魁新報社 秋田総合リース株式会社
株式会社北都銀行 株式会社松原印刷社
- 【個人】** 松原 巧 明治安田生命保険相互会社 秋田支社 職員一同

Q. 県体協って、どんなことをしているの？

A. 本会では、本県スポーツの振興と競技力向上を目指して、次のような活動をしています。

- 県民体育大会の開催
- 競技力向上事業の実施
 - 高等学校強化拠点校における強化活動への支援
 - 中学生強化選手への研修
 - トップアスリートの県内就職を支援する無料職業紹介
 - オリンピック・パラリンピック候補選手への遠征費等の助成
 - ドーピング防止講習会の開催
- スポーツの普及啓発事業の実施
 - 広報誌やHPによる広報普及活動
 - 秋田県スポーツ賞等による顕彰活動
- 生涯スポーツの振興
 - 総合型地域スポーツクラブの創設・支援
 - スポーツ指導者の養成・育成
 - 各種スポーツ少年団関連事業（競技別交流会、認定員養成講習会、リーダー研修など）

— 大口寄付者への寄付特典を見直しました —

今般、大口寄付者への寄付特典を見直し、平成30年度からは次表のとおりとしました。

本会への寄付金は、毎年、口数・金額とも減少傾向にあります。どうか、本会の活動を末永くご支援くださるよう、よろしくお願いいたします。

		Aコース	Bコース	オフィシャルパートナー
		年額1万円以上	年額10万円以上	年額30万円以上×3年
税制上の優遇※		○	○	○
体育協会掲示板への社名掲示		○社名	○ロゴ	○ロゴ
スポーツ秋田	直近号での社名掲示	○	○	○
	機関誌送付	○当該年度	○当該年度	○3年間
	表紙裏への掲載【新】	—	—	○3年間×3号
公式HPへのバナー広告【新】		—	—	○
各種式典等へのご招待【新】		—	—	○
通信用封筒への社名ロゴ【新】		—	—	○H30.8月から
バックボードへの社名ロゴ【新】		—	—	○H30.8月から

※所得税法、法人税法による寄付金特別控除、損金算入（法人の場合）などの特例対象となります。



オリンピック・パラリンピック候補者支援募金 ご報告

オリンピック・パラリンピック候補者支援募金の募金額等をご報告いたします。たくさんのご支援に感謝申し上げます。なお、交付先や交付額は、事務局及び選定委員会が応募書類を審査して決定しています。

(収入)	前年度募金額	291千円 (有限会社大報社、ゴルフコンペ、募金箱)
	今年度募金額	197千円 (明治安田生命保険相互会社、ゴルフコンペ、募金箱)
	合計	488千円
(支出)	H28事業	78千円 (スケルトン・笹原友希選手・平昌での強化合宿に係る経費)
	H29事業	207千円 (スケルトン・笹原友希選手・全日本選手権前合宿に係る経費)
	H29事業	未定 (カヌー・小野祐佳選手・ハワイでの強化合宿に係る経費)



笹原友希選手は、ソチ五輪に続き、平昌五輪への出場を目指して、日々の強化練習に取り組んできましたが、あと一歩のところまで、2大会連続出場とはなりませんでした。

笹原選手の奮闘ぶりは、NHK「アスリートの魂」(45分間)で放送されました。肉体の衰え、若手ライバルの台頭、資金難等に立ち向かいながら、ひたむきに努力を積み重ねる競技姿勢や、その結果、再出場は成し遂げることができなかったものの、やるべきことはやりきったと、その満足感を語る笑顔に心を打たれました。

平成30年1月、笹原選手が本会を訪れ、これまでの感謝と15年間の現役引退の報告をし、記念パネルを寄贈されました。記念パネルは、秋田県スポーツ科学センター2階のオリンピック関連展示コーナーでご覧いただけます。

バスケットボール競技普及等助成事業 ご報告

平成29年6月、秋田プロバスケットボールクラブ株式会社(現 秋田ノーザンハピネッツ株式会社)から、本県のバスケットボール競技の振興等に役立ててほしいと、100万円の寄付を頂戴しています。

この寄付金は、平成26年度から4年連続で頂戴しており、これまでの寄付金は総額400万円となりました。チームのファンクラブ「クラブハピネッツ」の年会費の一部が充てられています。

本会では、今年度、この寄付金により、デジタイマやボール等の用具購入事業や、講習会の開催事業に助成させていただきます。

秋田ノーザンハピネッツ株式会社様、そして、クラブハピネッツ会員の皆様、ご寄付ありがとうございました。チームの1部復帰と発展を応援しております。



(平成29年度助成先)

- 秋田県高等学校体育連盟バスケットボール専門部
 - 岩谷男子バスケットボールスポーツ少年団
 - 秋田県中学校体育連盟バスケットボール専門部
 - 船越男子ミニバスケットボールスポーツ少年団
 - 琴丘男子ミニバスケットボールクラブ
 - 神岡男子ミニバスケットボールクラブ HJジャズ
 - 尾去沢スポーツ少年団
 - 豊成 Jr ミニバスケットボールクラブ
 - 南外ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 以上9団体



会議録(抄)

12月21日 第2回臨時理事会

- ・国民体育大会の結果及び総括について
- ・国民体育大会冬季大会秋田県選手団本部役員について
- ・日本体育協会公認スポーツ指導者表彰について
- ・第28回日・韓・中ジュニア交流競技会の開催決定について
- ・国民体育大会ユニフォームについて

1月16日 第1回審査委員会

- ・秋田県スポーツ賞第一次審査

1月26日 第5回強化委員会

- ・社会人スポーツ強化チームについて
- ・ターゲット競技調査分析について
- ・テクニカルアドバイザーについて
- ・チームAKITA1000点プランについて

1月26日 秋田県スポーツ賞選考委員会

3月8日 第2回審査委員会

- ・秋田県スポーツ賞第二次審査

3月14日 第6回強化委員会

- ・冬季国体スキー競技会結果報告
- ・平成30年度の県体協主催の強化事業等について

3月14日 第3回総務企画委員会

3月14日 第2回秋田県スポーツ賞選考委員会

3月14日 三賞選考委員会

3月14日 第3回定例理事会

- ・業務執行理事の業務報告について
- ・第73回国民体育大会冬季大会の結果について
- ・「チームAKITA1000点プラン」について
- ・第3期高等学校強化拠点校について
- ・特別寄付金の執行状況について
- ・オリンピック・パラリンピック候補選手支援募金について
- ・平成30年度事業計画(案)について
- ・平成30年度当初予算(案)について
- ・辻ジュニアスポーツ大賞表彰規程の一部改正(案)について
- ・臨時評議員会の招集について

3月16日 第2回スポーツ医・科学委員会

- ・国民体育大会本大会成績及び帯同ドクター活動報告
- ・公認AT養成講習会新規受講者の推薦について
- ・平成29年度活動報告
- ・平成30年度運営計画

手続やお問い合わせはこちら

○総務課 018-864-8090

- ・オリンピック・パラリンピック候補選手支援募金
- ・バスケットボール競技普及等助成金
- ・県民体育大会開催事業交付金
- ・その他募金、寄付金及び協賛金に関すること
- ※スポーツ安全保険については、スポーツ安全協会 秋田県支部 018-833-0360

○事業課(競技) 018-864-8091

- ・高等学校強化拠点校や中学生強化選手関連事業
- ・国体や東北総体への参加手続に関すること
- ・スポーツ医科学やドーピング防止に関すること
- ・その他競技力向上に関すること

○事業課(生涯) 018-864-8094

- ・総合型地域スポーツクラブに関すること
- ・チャレンジデーに関すること
- ・国際交流事業
- ・秋田県スポーツ賞等各種表彰に関すること
- ・指導者の養成に関すること
- ・後援の承認
- ・その他生涯スポーツに関すること
- ・飲料水販売等の収益事業
- ・トップアスリート無料職業紹介事業

○スポーツ少年団室 018-866-3916

- ・スポーツ少年団登録事務
- ・認定員養成講習会
- ・その他スポーツ少年団に関すること



ご意見ご要望は、
公式ホームページの
「なんでも目安箱」が便利

訃報

永年にわたり、本県スポーツの発展、振興に寄与されましたご功績を称え、
謹んでご冥福をお祈りいたします。

加藤 廣志 氏 元本会副会長 平成30年3月4日 ご逝去

編集後記

本誌は年3回各2000部を発行しています。たくさんの皆様にご覧いただきたく、店舗の待合室等への配置に御協力くださる方は、総務課までご連絡ください。

本誌の発行にあたり、ご多用中の折、取材や原稿執筆などにご協力くださいました皆様、写真を提供してくださいました秋田魁新報社様、ご協力ありがとうございました。

本格派コーヒー・自動販売機サービス

M.M.C.[®]

三本コーヒー株式会社
秋田支店

〒010-0916 秋田県秋田市泉北3-3-35
TEL 018 (865) 5461 FAX 018 (888) 1721

駄菓子・クジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

しもむら



☎832-6766 駄菓子のしもむら 検索

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 泚 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

株式会社松 田

地域の発展とともに
株式会社湯沢生コン
松田グループ 株式会社丸栄建設
株式会社出羽運輸

株式会社エィコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業継承対策・医療法人経営指導税務対策

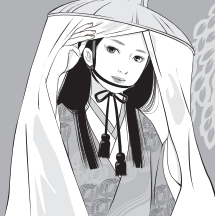
税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 高 橋 真 一
税理士 横 山 富 夫

本 店 / 秋田市南通亀の町 4 番 9 号 Tel.018-833-4022
横山会計 / 秋田市川尻若葉町 4 番 37 号 Tel.018-862-6388

美人を育む秋田米

©zenoh



あきたこまちと比べてやや
すっきりとした味で、旨みと
コクと甘味が感じられます。
甘味はさほど強くないが、
旨みが強く、味に厚みとコ
クがあります。



「あきたecoらいす」とは

使用農薬成分回数を半分以下に抑えたお米です。

JAグループ秋田・JA全農あきた



輝きを 汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター **アリナス**

スポーツ 合宿 研修 ... に

ア リ ナ 宿 泊 室
ト レ ニ ン グ ル ー ム 宿 ス ト ラ 室
温 水 プ ー ル 温 泉 ト ラ 浴 場
研 修 ル ー ム (サウナ有)
ミ ー テ ィ ン グ ル ー ム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台 2 番地 1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322
<http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/kouryuu/arinasu/list.html>



仲間と一緒に
楽しく

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険[®]



4名以上の団体・グループで
ご加入ください。



傷害保険



賠償責任保険



突然死葬祭費用保険

対象となる事故

団体での活動中の事故／往復中の事故

保険期間

平成30年4月1日午前0時から平成31年3月31日午後12時まで(申込受付は平成30年3月から)

掛金

掛金(1人年額800円~1,850円)は、活動内容・年齢によってご選択いただく加入区分ごとに異なります。
ただし、危険度の高いスポーツを補償するD区分は11,000円

補償内容

補償内容は、加入区分によって異なります。詳しくは、ホームページなどをご覧ください。



公益財団法人 **スポーツ安全協会** 秋田県支部

(公財) 秋田県体育協会内)

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5

秋田県スポーツ科学センター内

TEL **018-883-0360**

電話受付時間 午前8時30分~午後5時(土、日、祝日を除く。)



保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

検索

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社

担当課:公務第2部 文教公務室

TEL **03-3515-4346** (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(平成30年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災

損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動

日新火災 三井住友海上 AIG損保

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

平成29年12月作成 17-TC00823